

第2学年5組 学級活動（2）指導案

1. 日時・場所 令和元年11月6日（水）5校時（13:30～14:15） 2年5組教室

2. 題材 「あいさつパワーアップ大きくせん」（ア：基本的な生活習慣の形成）

学級目標

- ・ともだちのことをかんがえてこうどうする
- ・じかんをみてこうどうする。
- ・にが手をへらすためにあきらめない
- ・あいさつをあい手よりも先にする

3. 題材について

（1）児童の実態

本学級の児童は明るく協力的な子が多く、係活動や学習の中でも力を合わせて活動に取り組む姿が見られる。友だちのよい所に目を向ける人になって欲しいという思いから日々、「誰にでも苦手な事があるのは当たり前、友だちの苦手な所を責めるのではなくよい所を探すことが大切」と声をかけている。また、友だちの頑張っている所を手紙に書いて、教室にある個人のポストに投函する「ホメホメモンスター」を継続して行っている。この活動により、お互いを認め合う雰囲気が浸透してきたと感じる。

一方で、廊下歩行や挨拶といった基本的な生活習慣として身に付けてほしい部分に課題が多い。例えば、教室移動中静かに歩く、人に会ったら挨拶をすることができているかなと問うと、自信満々にできていたと答える児童が多く、児童の中での目標がまだ低いように感じることがある。

（2）題材設定の理由

社会に出て、よりよい人間関係を築いていくために欠かせないものが挨拶である。挨拶を受けてから返すのではなく、自ら進んで挨拶をすることを習慣として身に付けることにより、普段の生活のみならず、将来的にもよりよい人間関係を築けるようになって欲しいと願っている。

学級目標の一つに「あいてより先にあいさつをする」というものがある。多くの児童が朝、担任の顔を見ると自分から進んで挨拶をしている。一方で、友だちや担任以外の大人と校内ですれ違った際に自分から挨拶をする児童は少ない。度々クラス全体に対して挨拶の大切さについて話はしているものの、その場限りとなってしまう、継続することができていない現状がある。児童自身が自分事として捉えていないこと、相手意識をもてていないことが課題であると考えた。

今回の授業では、スクールガードリーダーの方からのアドバイスしてもらうことで挨拶のポイント、意義について今一度見直しを図る。そしてめあてを立てる中で、相手に伝わるような挨拶のパワーアップを自分事として捉え、日々の生活の中で継続して取り組んでいくことで児童自身の習慣になることを願っている。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活を作るために、日常の生活や学習の課題について話し合い、よりよい解決方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

5. 活動の実践

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)	資料
10月29日 朝の会	アンケート に記入	○挨拶についての意識を尋ねるアンケートを用意する。 ☆自分の挨拶や思いを想起して記入しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	挨拶アンケート (児童の意識を高める資料)

(2) 本時の活動

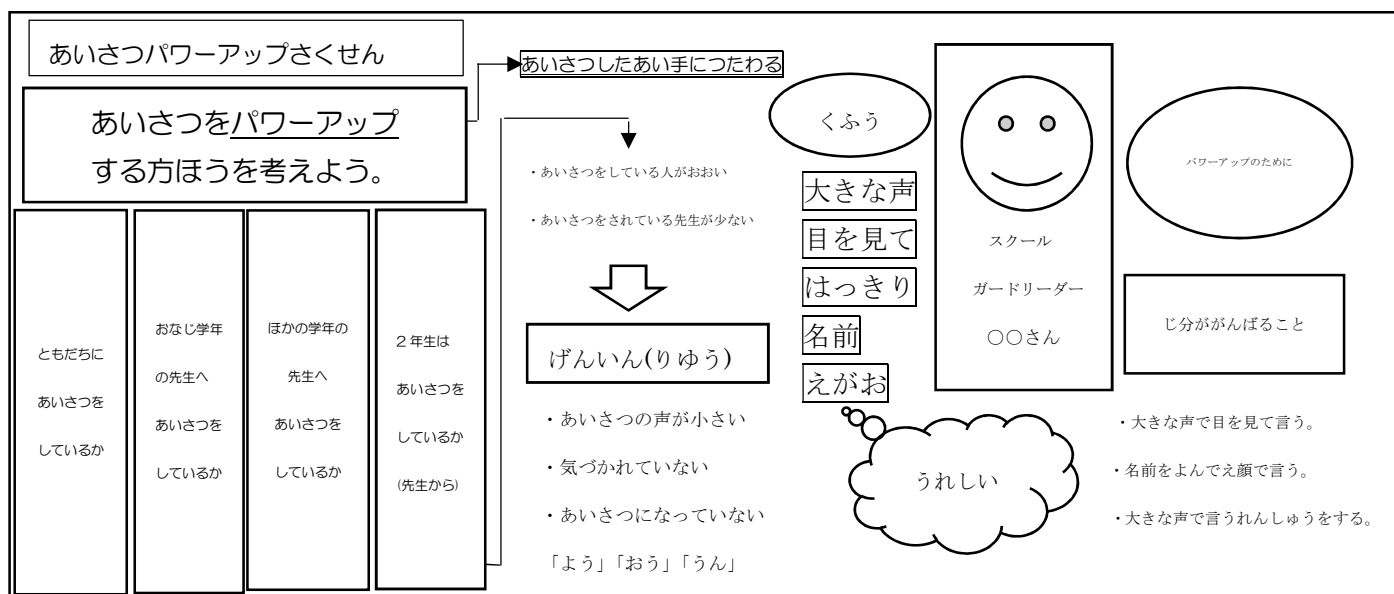
①ねらい 自分の挨拶の仕方を振り返り、挨拶の大切さに気付き、相手に伝わる挨拶をするためにはどうしたらよいかを話し合って自分のめあてをもって実践できるようにする。

②展開

	児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)	資料
導入	<p>【つかむ】</p> <p>1. 事前アンケートの結果を見て、クラスの挨拶の実態を知る。</p>	<p>○自分達の挨拶に対する意識と実態の差を知るために、挨拶している子どもが多いことに対してされていると感じている人(他の学年の先生)が少ないグラフを用意する。</p>	<p>アンケート結果をグラフにまとめる。</p> <p>資料1：児童の意識を高めるための資料</p> <p>1. 友だちへ挨拶をしているか</p> <p>2. 同じ学年の先生へ挨拶をしているか</p> <p>3. 他の学年の先生へ挨拶をしているか</p> <p>4. 教員側のアンケート(2年生は挨拶をしていますか)</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>挨拶をパワーアップする方法を考えよう</p> </div>		
	<p>【さぐる】</p> <p>2. 教員からのアンケートを見て挨拶が相手に届いていない理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声が小さい ・気付かれていない ・挨拶になっていない 「よう」「おう」「うん」 ・声が小さかったから気付かなかったのかも知れない。 ・目が合わなかったからかも知れない。 	<p>○一人ひとりが課題を自分事として捉えることができるよう、考える時間を設ける。</p>	

	<p>【見つける】</p> <p>3. 今の挨拶を相手に伝わる挨拶にパワーアップするための工夫を考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声 ・目を見て ・名前を呼ぶ ・笑顔 <p>4. スクールガードリーダーさんの動画を見て、挨拶の仕方を確認する。</p> <p>5. 挨拶の仕方を押さえた上で実演する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のよかった所、された時の気持ちを伝え合う 「うれしい」 「いい気持ち」 	<p>○よりよい挨拶について一人ひとりが工夫を考えられるように、隣の人と話し合う時間を設ける。</p> <p>○自分たちが意識できていないポイントにも気付けるよう、直前に出た工夫と照らし合わせる。</p> <p>○相手意識がもてるように、アンケートで出てきた挨拶をされた側の気持ちを取り上げる。</p> <p>○挨拶をされた側の児童の気持ちを取り上げ、相手意識をもてるようにする。</p> <p>☆正しい挨拶の仕方を理解する。 (集団活動や生活についての知識・理解)</p>	<p>スクールガードリーダーさんの動画 (ねらいを焦点化するための資料)</p>
<p>終末</p>	<p>【きめる】</p> <p>6. 発表されたことをもとに、挨拶をパワーアップをするためにはどんなことをすればよいか、めあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で目を見て挨拶をする。 ・近づいて、お辞儀をしながら挨拶をする。 ・名前を呼んで、大きな声で挨拶をする。 	<p>○達成可能なめあてを立てられるよう、自分の今までの挨拶を振り返るよう声をかける。</p> <p>○抽象的なめあてを立てている児童には、具体的な様子をめあてにしていくよう声をかける。</p> <p>○他者意識がある児童には、さらにパワーアップ(相手をうれしい気持ちにする)するために何が出来るかを考えるよう声をかける。</p>	<p>めあてカード (実践への意欲づけのための資料)</p>

③板書計画



(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)	資料
1 1月 6日(水) ～1週間 帰りの会	めあてを意識して挨拶をする。	○毎日忘れずにめあてを実践できるよう、実践できている児童を紹介し、実践したことで気付いたことを発表させ、他の児童の意欲を引き出す。 ☆自分のめあてに向けて、自分が考えた方法を実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	めあてカード (実践への意欲づけのための資料)
1 1月 14日 (木) 朝の会	これまでに実践したことを振り返る。	○相手に伝わる挨拶のよさを感じられるように、めあてカードを見ながらめあてを実践してみてどうだったか、相手の反応や自分の気持ちを思い出すよう声をかける。	先生方からのビデオレター・ (実践への意欲づけのための資料)